

タウンミーティング開催の概要

1 目的

次期総合計画が、市民にとって共有できる「ビジョン」や「シナリオ」となることを目指して、市民が主体となって参加し、将来のあきる野市の理想の姿及び実現に向けたアイデア出しを行う機会を設定する。

2 概要

(1) 開催地域・規模

市民が参加しやすいよう、市内を3地域（西部・中部・東部）に分け、それぞれ3回ずつ実施

	①西部 (五日市・戸倉・小宮)	②中部 (西秋留・増戸)	③東部 (東秋留・多西)
第1回	9月1日(日) 10:00~12:30 五日市出張所	8月31日(土) 15:30~18:00 市役所(本庁舎)	8月31日(土) 10:00~12:30 市役所(本庁舎)
第2回	9月21日(土) 15:30~18:00 五日市出張所	9月21日(土) 10:00~12:30 市役所(本庁舎)	9月14日(土) 10:00~12:30 市役所(本庁舎)
第3回	10月19日(土) 10:00~12:30 五日市ファインプラザ	10月19日(土) 15:30~18:00 五日市ファインプラザ	10月20日(日) 10:00~12:30 市役所(本庁舎)

(2) 形式・各回テーマ

①タウンミーティングはワークショップ形式で実施

【特徴】

- ・テーマについて、みんなで意見やアイデアを出し合い、課題やその解決策について話し合う
- ・特別な専門知識や経験、経歴は不要
- ・一般的な会議とは違い、少人数でテーブルを囲み、リラックスした雰囲気自由に意見を出せる話し合いであり、気軽な参加が可能

【ワークショップ時のルール】

- ・自由に発想し、他人の意見を否定しない。
- ・お互いの自主性を尊重する。
- ・全員が発言する。
- ・考えが変わった場合、意見を変えてもよい。
- ・必ず結論をだす。



②ワークショップの進行方法は次のとおり

- ・1グループ当たり4~6人に分かれて話し合うものとし、進行に当たり、グループの中で進行役、書記、発表者などの役割を分担する。
- ・意見交換がスムーズに進むように、全体進行を行うファシリテーターのほか、各グループにはサポーターがつき、アドバイスを行う。

- ・日ごろの暮らしの実感やご家族との日常の会話等を通じて、さまざまな意見を自由に出し合う。
- ・各回の最後には、皆さまから出された意見をまとめ、グループごとに発表を行い、良い提案や気に入った提案への投票なども予定する。

③各回のテーマは次のとおり。各回の内容は連動するため、参加者に対しては原則、全3回の参加を求める。

回数	テーマ
第1回	「あきる野市の個性を浮き彫りにしましょう」 まちの個性（宝（資源・魅力）、困りごと）について、暮らしの実感等を交えて考え、これからのあきる野市においてどのように個性を発揮していけばよいかを想像する。
第2回	「あきる野市の望ましい将来像を描きましょう」 まちの個性を踏まえ、「10年後、こうなるといいなあ」という将来像を描くとともに、実現に向けた具体的な活動の方向性を考える。
第3回	「市民が主体となることができること、やるべきことを考えましょう」 将来像の実現に向けて、特に市民が主体として活動すると効果が高いと考えられる項目（テーマ）を抽出し、具体的な活動内容を考える。

※タウンミーティングは今年度及び次年度にそれぞれ実施するものであり、今年度は基本構想、来年度は基本計画の検討に力点を置く。

（３）募集・参加予定人数

①7月下旬から8月上旬にかけて、タウンミーティング参加者を募集、参加要件及び方法は次のとおり

①要件

- ・18歳以上79歳以下の市民（基準日：令和元年6月1日）であること。
- ・3回のタウンミーティングに全て参加できる見込みであること。

②募集方法

- ・地域ごとの年齢構成等を踏まえ、3地域ごとに約1,500人の市民を無作為抽出の上、案内状を送付し、参加者を募る（参加希望多数の場合は抽選）

※無作為抽出型を採用した背景

- ・公募型等では集まりにくい比較的若い世代や子育て世代、居住年数が少ない市民等の参加を促すことをねらいとした。

②応募結果は次のとおり

地域	人数	属性（8/8時点）
西部	17名	○男女割合 男性9名（52.9%）、女性8名（47.1%） ○年齢割合 20代1名（6.3%）、30代1名（6.3%）、40代1名（6.3%）、50代4名（25.0%）、60代4名（25.0%）、70代5名（31.3%）、80代1名（6.3%）
中部	16名	○男女割合 男性8名（50.0%）、女性8名（50.0%）

		○年齢割合 20代1名(6.3%)、40代5名(31.3%)、50代2名(12.5%)、60代3名(18.8%)、 70代5名(31.3%)
東部	20名	○男女割合 男性9(45.0%)、女性11名(55.0%) ○年齢割合 20代1名(5.0%)、40代2名(10.0%)、50代3名(15.0%)、60代6名(30.0%)、 70代8名(40.0%)

※議論をスムーズに行うため、参加者に対して、参考資料を事前に送付する。

(4) 第1回プログラム(案)

「あきる野市の個性を浮き彫りにしましょう」というテーマのもと、次のとおりの当日プログラム(3地域共通)を予定している。

項目	内容
開会あいさつ	・主催者あいさつ
プログラム説明	・全体のスケジュール確認 ・ワークショップの「約束事」の確認
総合計画についての説明	・総合計画とは、現行計画の特徴について説明
ワーク①(データから見るあきる野市の全貌)	・各種データを用い、市の現状を「見える化」する。
ワーク②(市の「宝」と「困りごと」)	■まちの宝とその理由を、付箋紙に記述する。 ①宝(まちの資源・まちの魅力)とその理由 ②グループ内で共有 ・マトリクス(現行計画の施策大綱別)を用意して、順番に読みながら貼り出す。 ■困りごと(昔に比べて明らかに悪くなってきていること)とその理由を、付箋紙に記述する。 ③マトリクスの内容について ・異なる見解が出ている項目について意見交換 ・付箋紙が極端に少ない項目について意見交換
閉会	・閉会あいさつ ・次回の予告 ・アンケート回収

※参考(ファシリテーターについて)

○奥村玄(NPO法人横浜プランナーズネットワーク 前理事長)

農村計画、町並み景観計画、地域福祉計画等の計画づくり、建築計画(集会所や古民家の再生)、都市デザイン(プロムナードや地域緑化)、ランドスケープデザイン(公園設計)の設計など、幅広くまちづくりの支援を行っており、市民参加型のワークショップのファシリテーション経験が豊富